



第298回

QCサークルリーダー研修会
参加募集のご案内

研修テーマ：問題解決型QCストーリー

開催日時	平成31年 6月 7日（金） 9：30～17：00（受付 9：00～）
場 所	山形県新庄市 新庄市民プラザ （新庄市大手町1番60号 TEL：0233-22-4200）
募集人員	50名（お申込み順） ※締め切り：5月31日（金）
参 加 費	賛助会員・山形県工業会会員：4,000円/人 一般会社：5,000円/人 （昼食代含む：お弁当を準備致します）



参加のおすすめ

- 企業環境の激変に伴い、原因の深掘りによる真因の追求とテーマ解決の一層のスピードアップが要求されており、企業の発展に寄与するためにも必要なことです。
今回の研修は器材を使って実技を行い、実際に収集したデータを基に問題解決型QCストーリーに沿ってテーマを解決する演習を行いますので、より理解が深まり職場での実践に活かせる有意義な内容となっております。
- 演習過程で次の点にポイントをおいております。
 - ・データの「ばらつき」と「層別」の理解
 - ・特性と要因とのデータによる検証での要因の絞り込み
 - ・原因の重み付けによる対策立案と実施
- 研修会に参加していただきたい方
問題解決型QCストーリーを深く学びたい方、あるいは自社または自サークル活動のマンネリ化からの脱却や再活性化を考えている小集団活動の推進者、リーダー、メンバーの方、品質管理に携わっている方など是非ご参加下さい。



研修プログラム

- 9:00 ~ 9:30 受付
 9:30 ~ 9:40 開会の挨拶, オリエンテーション
 9:40 ~ 10:20 講義Ⅰ
 ①QCストーリー(QC手法含む)
 ②問題解決型
 10:20 ~ 11:00 講義Ⅱ
 ばらつきの見方とグラフ化
 11:00 ~ 11:15 休憩
 11:15 ~ 15:45 グループ演習
 「積み重ねゲームでのデータ収集などの演習」
 (12:00 ~ 12:45 昼食・休憩) **参加者のお弁当は準備致します**
 (14:30 ~ 14:40 休憩)
 15:45 ~ 16:15 グループ演習の結果発表とまとめ
 16:15 ~ 16:45 自サークル活動の困りごと相談
 16:45 ~ 17:00 アンケート記入, 閉会の挨拶



会場案内



〒996-0084

山形県新庄市大手町1-60

TEL0233-22-4200

新庄駅から徒歩で10分



参加申込み要領

申し込み方法	別紙の申込書・事前調査票に必要事項を記入の上、FAXまたはE-mailでお願いいたします。
締め切り	2019年 5月31日(金)
募集人員	50名(お申込み順)
申込み先	QCサークル山形・秋田地区事務局 日立オートモティブシステムズ(株) ST品質保証部 土場 祐子 〒013-8592 横手市安本字下御所野1-2 E-mail: yuko.doba.gw@hitachi-automotive.co.jp TEL: 090-1063-9347 FAX: 0182-33-2229

土場 祐子 行き

*参加申込みから2日経過しても返信がない場合、お手数ですが
メールかTELで確認をお願い致します。

*締め切り：2019年 5月31日（金）

第298回 QCサークル山形・秋田地区

QCサークルリーダー研修会 参加申込書

会社名				
所在地	〒 TEL： FAX：			
会社概要	従業員数：約 人			
	業種：			
	主要製品：			
連絡担当者	所属：		役職：	
	氏名：			
	E-mail：			
参加者氏名 (フリガナ)	1		4	
	2		5	
	3			
参加費 (テキスト代、 昼食代含み)	賛助会員・工業会会員		4,000円× () 名＝	円
	一般会社		5,000円× () 名＝	円
	合 計		円(振込予定日 月 日)	

参加費の 振込み先	秋田銀行（金融機関コード：0119） 横手支店（支店コード：341） 普通預金口座 777620 QCサークル山形・秋田地区事務局 代表 土場 祐子（とばゆうこ） 振込み期限 2019年 6月28日（金）
--------------	---

別紙、事前調査票（申込書②③）もご提出お願いいたします。

第298回 小集団改善活動研修会 事前調査票

1. 連絡担当者の方がご記入ください。 ※該当項目は■にしてください。

会社名			
小集団名称	☐ QCサークル ☐ 小集団改善サークル ☐ ZD ☐ TPM ☐ その他（ ）		
導入年月	☐ 昭和 ☐ 平成 年 月	サークル数	

2. 派遣責任者の方が研修会へ参加させる目的をご記入ください。

--

3. 以下、参加者の方がご記入ください。（参加者全員）

参加申込No.1 ※該当項目は■にしてください。

参加者氏名		性別	☐ 男性 ☐ 女性	年齢	
役 割	☐ 管理監督者 ☐ 推進者 ☐ リーダー ☐ 事務局 ☐ メンバー ☐ その他（ ）				
1. 問題解決型QCストーリーは活用していますか？ ☐ 常に活用している ☐ たまに活用する ☐ 今後おおいに活用したい					
2. 職場にて、いろんなQC手法を活用していますか？ ☐ 常に4種類以上活用している ☐ パレート図と特性要因図のみ活用する ☐ 今後多くのQC手法を活用したい					
3. データの「ばらつき」に着眼して、改善に役立てていますか？ ☐ 常に「ばらつき」に着眼し層別、時系列の考え方を取り入れている ☐ たまに「ばらつき」に着眼し層別、時系列の考え方を取り入れている ☐ 今後多いに「ばらつき」に着眼していきたい					

参加申込No.2 ※該当項目は■にしてください。

参加者氏名		性別	☐ 男性 ☐ 女性	年齢	
役 割	☐ 管理監督者 ☐ 推進者 ☐ リーダー ☐ 事務局 ☐ メンバー ☐ その他（ ）				
1. 問題解決型QCストーリーは活用していますか？ ☐ 常に活用している ☐ たまに活用する ☐ 今後おおいに活用したい					
2. 職場にて、いろんなQC手法を活用していますか？ ☐ 常に4種類以上活用している ☐ パレート図と特性要因図のみ活用する ☐ 今後多くのQC手法を活用したい					
3. データの「ばらつき」に着眼して、改善に役立てていますか？ ☐ 常に「ばらつき」に着眼し層別、時系列の考え方を取り入れている ☐ たまに「ばらつき」に着眼し層別、時系列の考え方を取り入れている ☐ 今後多いに「ばらつき」に着眼していきたい					

参加申込No.3

※該当項目は■にしてください。

参加者氏名		性別	☐ 男性 ☐ 女性	年齢	
役 割	☐ 管理監督者 ☐ 推進者 ☐ リーダー ☐ 事務局 ☐ メンバー ☐ その他（ ）				
1. 問題解決型QCストーリーは活用していますか？ ☐ 常に活用している ☐ たまに活用する ☐ 今後おおいに活用したい 2. 職場にて、いろんなQC手法を活用していますか？ ☐ 常に4種類以上活用している ☐ パレート図と特性要因図のみ活用する ☐ 今後多くのQC手法を活用したい 3. データの「ばらつき」に着眼して、改善に役立てていますか？ ☐ 常に「ばらつき」に着眼し層別、時系列の考え方を取り入れている ☐ たまに「ばらつき」に着眼し層別、時系列の考え方を取り入れている ☐ 今後多いに「ばらつき」に着眼していきたい					

参加申込No.4

※該当項目は■にしてください。

参加者氏名		性別	☐ 男性 ☐ 女性	年齢	
役 割	☐ 管理監督者 ☐ 推進者 ☐ リーダー ☐ 事務局 ☐ メンバー ☐ その他（ ）				
1. 問題解決型QCストーリーは活用していますか？ ☐ 常に活用している ☐ たまに活用する ☐ 今後おおいに活用したい 2. 職場にて、いろんなQC手法を活用していますか？ ☐ 常に4種類以上活用している ☐ パレート図と特性要因図のみ活用する ☐ 今後多くのQC手法を活用したい 3. データの「ばらつき」に着眼して、改善に役立てていますか？ ☐ 常に「ばらつき」に着眼し層別、時系列の考え方を取り入れている ☐ たまに「ばらつき」に着眼し層別、時系列の考え方を取り入れている ☐ 今後多いに「ばらつき」に着眼していきたい					

参加申込No.5

※該当項目は■にしてください。

参加者氏名		性別	☐ 男性 ☐ 女性	年齢	
役 割	☐ 管理監督者 ☐ 推進者 ☐ リーダー ☐ 事務局 ☐ メンバー ☐ その他（ ）				
1. 問題解決型QCストーリーは活用していますか？ ☐ 常に活用している ☐ たまに活用する ☐ 今後おおいに活用したい 2. 職場にて、いろんなQC手法を活用していますか？ ☐ 常に4種類以上活用している ☐ パレート図と特性要因図のみ活用する ☐ 今後多くのQC手法を活用したい 3. データの「ばらつき」に着眼して、改善に役立てていますか？ ☐ 常に「ばらつき」に着眼し層別、時系列の考え方を取り入れている ☐ たまに「ばらつき」に着眼し層別、時系列の考え方を取り入れている ☐ 今後多いに「ばらつき」に着眼していきたい					